
私は、この世界で。

志虹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私は、この世界で。

【Nコード】

N6737Z

【作者名】

志虹

【あらすじ】

私は森の中で、扉を見つけた。

錆びついていて、壊れた、もう誰にも使われなくなった扉。でも、その扉はある世界に繋がっていた。

そう、『太陽のない』世界に――。

この小説は「ハル - 太陽の少年 -」を改めて書いたものです。

プロローグ 『春』（前書き）

あらすじにも書きましたが、これは「ハル - 太陽の少年-」の改正版です。

前作を削除しようかと思いましたが、それはやっぱりなあ…という訳で。

題名も違うのでいいかなと考え、こういう形をとらせてもらいました。

結構内容変わってたり（？）します。

では、まったり読んでください（´ω´*）

プロローグ 『春』

風が吹いた。

それは優しく、桜の枝を揺らした。

桜の花びらが舞い上がり、ひらひらと落ちていく。

もう春なんだ――。

淡いピンク色の絨毯が敷かれた道をゆっくりと下る。

私は進級して、高校一年になった。

真新しい制服も風に揺れる。そして髪も。

あの頃はセミショートだった髪も、今では背中に届くくらい伸びた。

「――ハル」

二文字の言葉が口から漏れる。

あの時からいつだって、私の頭の中から消える事はなかった。

これからもずっと忘れない。約束したから…

『きつとまた逢おう』

その言葉を何度も繰り返す。

逢いたい。逢いたいよ、みんなに。

逢いたいよ…ハルに――。

うつむ

俯くと、涙が零れそうになる。それを止めるために、空を見上げた。

春の日の光…太陽の光が瞳を照らす。眩しくて、愛しくて、更に涙が溢れてくる。

「きつと…また逢おう……」

もう一度繰り返した。

手の温もりも、あの笑顔も、琥珀色の髪も…。

みんなみんな憶えている。

でも、いつかは消えてしまふのかな…。私の意思とは裏腹に。

霞まないで、私の記憶。

お願いだから――。

「シロ」

不意に、懐かしい声が懐かしい名前で私を呼んだ。

私は、

ブログ 『春』（後書き）

ブログはあんまり変わってませんね（´・`・）

展開はゆっくりにしようとしているのですが…どうなることやら。ちよこっとなづつ投稿していくつもりですので、お付き合いくださいませ（´・`・*）

紫羽

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6737z/>

私は、この世界で。

2011年12月22日18時52分発行